

保護者様

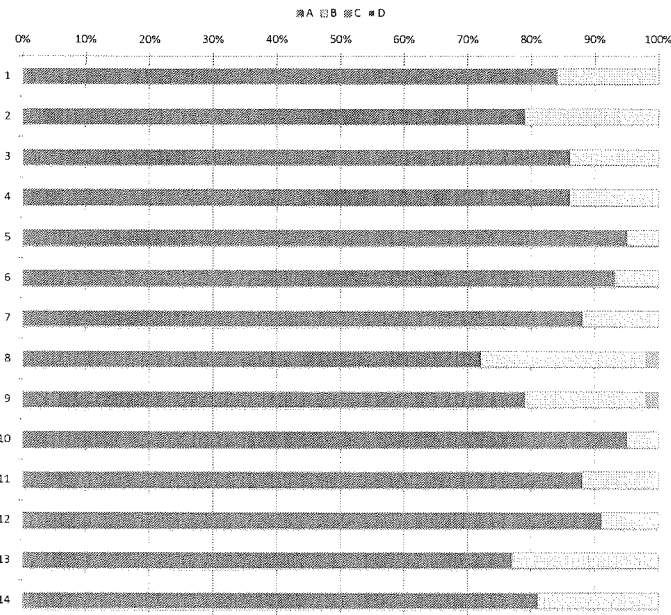
令和元年度 幼稚園アンケート結果

幼稚園アンケートへのご協力をいただき、ありがとうございました。保護者の皆様からは43通の回答をいただき、回収率は91.5%でした。

今回は、保護者の皆様からの回答を項目ごとにパーセンテージのグラフで表し、教職員の自己評価、学校運営協議会の理事の皆様からのご意見と併せて、結果・考察をお知らせいたします。

A: あてはまる B: やあてはまる C: あまりあてはまらない D: あてはまらない

分野	No.	評 価 項 目 ()は評価する指標です。
連携	1	園や担任は、園の取組や子どもの様子などを伝えていること (幼稚園だより、クラスだより、HP、保育参観、懇談会、登園降園時など)
	2	園は、小学校への円滑な接続に向けての取組を進めていること (くすのきフェスタ・自覚発表会・にじこタイムなど小学校行事への参加、保幼小の子どもとの交流、保幼小の参観など)
	3	園は、地域と連携した取組を進めていること (ねんがら祭り、ふたば伝言筒、親子お茶会、園児がスクーモ提示、地域行事への参加、地域団体との交流など)
確かな学力	4	子どもは、夢中になって遊ぶことを通して、主体的に学ぶ力(学びに向かう力)を身に付けていること (教育活動、園行事など)
	5	園や担任は、自分のことは自分でできることを大切に取組を行っていること (基本的生活習慣、健康への意識など)
	6	園では、読書活動の推進に向け、親子読書を進めていること (読書環境、絵本室の整備、親子で絵本!、絵本貸出し・自由貸出しの設定など)
豊かな心	7	子どもは、友だちや教職員とともに遊び、楽しく幼稚園生活を送っていること (教育活動、友だち関係、教職員との関係、園行事など)
	8	子どもは、友だちや命あるものに、やさしい気持ちを持って接していること (友だち関係、子どもの言動、幼稚園家族、一人一鉢、栽培・飼育活動など)
	9	園や教職員は、子どもに規範意識を育てる取組を行っていること (あいさつ、言葉づかい、ルールやマナーの指導など)
健やかな体	10	子どもは、戸外で遊んだり、自然とのかかわりを楽しんだりしていること (教育活動、園外保育、栽培活動、園行事など)
	11	園では、子どもの心と体の健康や安全についての取組を進めていること (健康診断、発育測定、園行事、保健指導、安全指導、家庭教育講座など)
支援	12	園は、安心・安全な預かり保育(にじこタイム)の運営を行っていること (預かり保育の活動、子どもの姿、実施状況など)
	13	園は、子どものことについて、何でも相談しやすい雰囲気があること (教育相談、学級懇談会、個人懇談会、登園降園時、ひだまりサロンなど)
	14	園は、保護者の子育て支援の充実を図っていること (教育相談、あだか・うさぎ組の取組、ぐんぐん広場(就学前の親子対象)など)



保護者 自由記述より	<考察>
【連携】 ・子どもの成長で悩んでいる事や不安に思っていることを気軽に相談でき、親密になって聞いただけでいいことに、とても感謝しています。ありがとうございます。 ・年少組は特に、言葉より先に手が出てしまうことも多いと思いますが、その場で本人同士が先生を交えて解決できていたら、その後の保護者への連絡の時に、お互いがあまり負い目を感じない雰囲気になればいいなあと思いました。 ・いつも子ども達をあたたかく見守っていただき、ありがとうございます。 ・行事等で3歳と4歳の送り迎えが大変な時等、園側から少し配慮があれば助かります。 ・クラス全体の様子は毎日話していただきよく分かるのですが、個人的に日々どんなことに関心を持って過ごしているのか等知れたら嬉しいですね。そのためにも、先生方の仕事の援助がより進むことを願います。 ・カレーパーティーで野菜を切ったことがとても嬉しかったみたいで、その後、家で野菜などを切りたいと言うようになりました。幼稚園の体験から、興味・欲求を表現してくれ成長を感じました。ありがとうございます。 ・プール参観など、園での様子を拝見して、担任の先生には本当に感謝しかありません。1人の子どもの見るだけでも毎日ヘトヘトな私ですが、先生は毎日20人相手に遊んだり、教えたがり・・・先生ってすごいな〜と改めて思いました。先生の体が時々心配です。毎日、本当にありがとうございます。 ・毎日、保育後もいろいろなお仕事をこなされて、頭の下がる思いです。 ・子どもの様子をしっかりと見ていただいて、いつも活動の姿を教えてください。家とは違うわが子の顔を知ることができています。今後ともよろしくお願いします。 ・担任の先生だけでなく、他のクラスの先生や職員の方々も、子どもの園での様子を教えてください。幼稚園全体で育ててもらえていると感じます。安心できる環境で、親子共々通園させていたいです。 【確かな学力】 ・去年、苦手で手をつなかなかった遊びが、1年経ち、周りのお友達と楽しめるようになったり、興味を示さずあまり参加しなかった活動も、自分から意欲的に参加するようになったりとか、この1年の本人の成長を感じるとともに、先生方が本人のペースを大事にしてずっと働きかけてくださった積み重ねのおかげだと感じています。ありがとうございます。 【豊かな心】 ・子どもの言葉づかいについて、あまりよくない言葉づかいが時々耳に入ります。幼稚園で指導していただけたらと思います。 【その他】 ・誕生日の前の月のすみれ組の子どもが、誕生会の司会をするのですが、その子の親は司会をする姿を見学してはいけいないのでしょうか。3年間のうち一度だけなので、子どもの成長する姿を見せてもらいたいなと思っています。 ・子どもたちの使う水道の排水溝がよく詰まっているようです。チェックをお願いします。	<考察> 【連携】 ・幼児期の子供は、自分の思いが強く、遊びや活動等の中で、子ども同士思いがぶつかり、トラブルも起こることがあります。そういうことも、子どもが成長する一つの機会と捉え、お互いの思いを出しあったり、お互いに折り合える方向を考え合ったり、教師が解決のための支援をしたりしています。 ・子ども同士のトラブルについては、できるだけ早期に当事者同士で解決するようにし、保護者にも伝えるように今後も気をつけていきます。 ・園行事があるときのクラス毎の降園時刻について、検討していきたいと思います。このようにしてほしいなどの要望や具体的な案がありましたら、お知らせください。 ・降園時には、その日の クラス全体の活動の様子を伝えていますが、子どもの個別の活動や様子も伝えていきます。保護者の方が気になることがありましたら、担任にお聞きください。 ・幼稚園の活動や生活で経験したことが、家庭での生活に生かされることは嬉しいことです。子どもの成長を認め褒めてあげることで、子どもの自己有用感につながると思います。 【確かな学力】 ・子どもの成長には個人差があるので、今できないことも、繰り返すことや経験を積み重ねることで、できるようになります。また、ちょっとしたきっかけで、「やりたくない」という気持ちから、「やってみようかな」という気持ちが生れるときもあります。そのきっかけを見逃さず、成長のきっかけとして支援していきたいと思います。 【豊かな心】 ・幼児期の子どもは、言葉の獲得や言葉の使い方を日々学んでいます。あまりよくない言葉づかいも、どこかで、何から子ども自身が聞くことで知り、使うようになると思います。正しく言葉を身に付けられるような環境を、幼稚園においても家庭においても社会においても心がけていかなければならないと思います。幼稚園で気になる言葉づかいがあった時は、指導していきますので、保護者が耳にされた気になる言葉づかいがありましたら、家庭でも指導していただき、幼稚園にお知らせしてください。 ・(8)項目のA(あてはまる)が72%でした。幼児期の子どもは自分の思いを言動に表すので、トラブルも発生します。どのように自分の気持ちに折り合いをつけていくかを成長の一つとして捉え、関わっていきます。 【その他】 ・誕生会は、生まれ月の子どもが主役ですので、お祝いする保護者の方に参加していただき、いっしょにお祝いしていただいています。また、誕生会の持ち方や司会などにつきましても、その時の子どもたちの状況に応じて実施しています。 ・砂場遊びで、屋外の水道を使ったり、遊び道具を洗ったりすることで、排水溝が詰まります。たらいの水で洗うなど、直接手洗い場で遊び道具を洗わないようにします。詰まっているときは、流れるように掃除していますが、保護者の方が排水溝の詰りに気づかれたときは、幼稚園にお知らせください。また、園庭開放などで保護者といっしょに遊ぶ時には、遊び道具を手洗い場で洗わないように気をつけてください。

【学校運営協議会理事からのご意見】

- ・貴園の熱心な教育姿勢に感謝します。自分の子供が竹田幼稚園でお世話になっていた時、「親子の会話が少しすくないんじゃないですか」と、担任の先生から指摘されたことがありました。その時は、少しショックでした。その後、ゆっくり話すことや、腰を低くして、目線を合わせて話すように意識したものです。子供が小さい間は、親も新米です。親御さんが迷いながら、でも、一生懸命子育てされている姿を見ると、頑張れ!!と応援したくなります。これからも、ご指導宜しくお願いいたします。
- ・竹田幼稚園の教育活動には、大変満足しています。しかし、日々教職員の方々を見てると、とても忙しそうで、なかなか声をかけづらいと思うこともあります。教職員の人数を増やすなど、先生方の負担を少しでも減らすことで、より園と保護者との関係が良くなるのではないかと思います。保護者との関係が深まれば、行事等でボランティアが必要な時でも、参加率が増えるのではないかと思います。